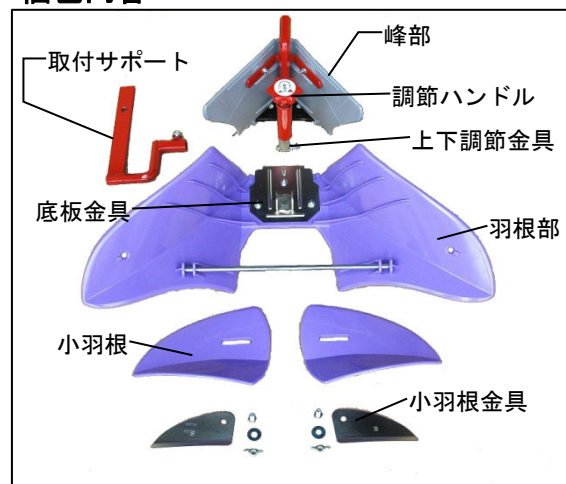


# パープル培土器W 取扱い説明書 《汎用管理機用》

2011年6月作成

この度はパープル培土器Wをご購入いただき、誠に有難うございます。この商品は、野菜作りの畝立作業で初めて培土器を使われるかたでも不安なく作業ができるように調整箇所を1箇所にし、また、畝溝に入った作業が楽にできるように従来品と比べ底幅を広くし、18cmとした商品です。使用に当たっては本説明書をよくお読みのうえ、安全な作業を行なってください。

## 1. 梱包内容



パープル培土器Wには左図の通りの部品が入っています。

※注意：本機に取り付けるサポートは、各種管理機により種類が異なります。

## 2. 峰部・羽根部・小羽根の取り付け方法



① 峰部調節ハンドル下のピンをとりはずしてください。



② 峰部下部の接続部に羽根部の接続部をはめ込んでください。



③ 次に羽根部を持ち上げ、峰部の調節ハンドルに取り付けてある上下調節金具に底板金具をピン及び平座金、Rピンで止めてください。



④ 次に調節ハンドルを右（高い方）に回し、羽根部の端を峰部のゲージラインに合わせてください。



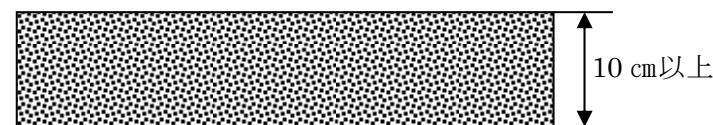
⑤ 小羽根は、小羽根当金を重ね、  
(図①)  
羽根部の6角溝に6角ボルトを合わせて、平座金・蝶ナットでしっかりと締め付けてください。  
(図②)



## 畝立作業時の注意点

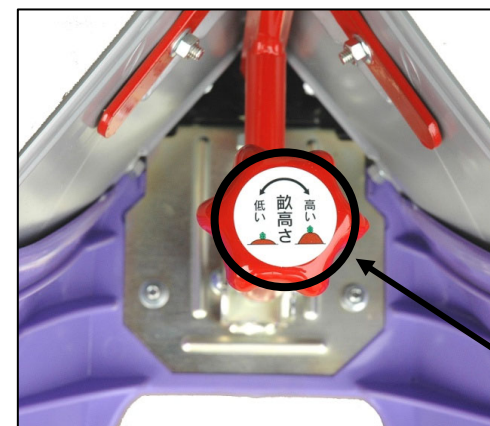
### 1. 畝立ての準備

圃場（畑）は十分に耕うんしましょう。



★培土器で畝立作業をする場合には圃場（畑）は10cm以上しっかり耕うんして、土が細くなるようにしてください。（管理機での耕うんは2回ぐらい行なってください）

### 2. 畝の高さ調節



★畝立作業をする際に畝の高さを調節する場合は、左図の「畝高さ調節ハンドル」を回してください。  
・畝を高くする場合→ハンドルを『高い』の方向（右方向）へ回してください。  
・畝を低くする場合→ハンドルを『低い』の方向（左方向）へ回してください。

### 3. 畝をまっすぐ立てたい場合



➡  
<写真1>



★タイヤが前にある管理機の場合は、<写真1>のように畝を立てたい場所にロータリーを上げてタイヤ跡をつけ、そのタイヤ跡にもう一度タイヤをはめ込んで畝を立てるようになるとまっすぐなきれいな畝立てができます。

製造元 (株)宮丸アタッチメント研究所

〒721-0961 広島県福山市明神町 2-2-22

TEL 084-931-3855

FAX 084-926-3611

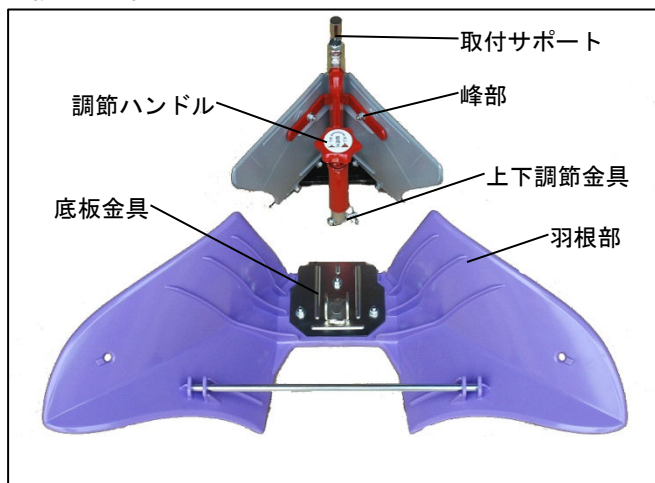


# パープル培土器 取扱い説明書 《小型管理機用》

2011年6月作成

この度はパープル培土器をご購入いただき、誠に有難うございます。この商品は、野菜作りの畝立作業で初めて培土器を使われるかたでも不安なく作業ができるように調整箇所を1箇所にし、また、畝溝に入っただけの作業が楽にできるように従来品と比べ底幅を広くし、18cmとした商品です。使用に当たっては本説明書をよくお読みのうえ、安全な作業を行なってください。

## 1. 梱包内容



パープル培土器には左図の通りの部品が入っています。

※注意：本機に取り付けるサポートは、各種管理機により種類が異なります。

## 2. 峰部と羽根部の取り付け方法



① 峰部調節ハンドル下のピンをとりはずしてください。



② 峰部下部の接続部に羽根部の接続部をはめ込んでください。



③ 次に羽根部を持ち上げ、峰部の調節ハンドルに取り付けてある上下調節金具に底板金具をピン及び平座金、Rピンで止めてください。



④ 上下調節金具と底板金具をピン止めたら、調節ハンドルを右（高い方）に回し、羽根部の端を峰部のゲージラインに合わせてください。

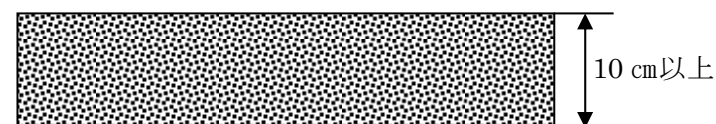


組み立て完成図

## 畝立作業時の注意点

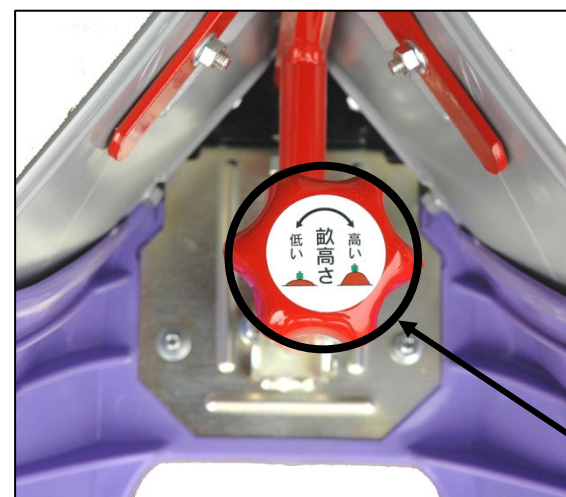
### 1. 畝立ての準備

圃場（畑）は十分に耕うんしましょう。



★培土器で畝立作業をする場合には圃場（畑）は10cm以上しっかり耕うんして、土が細くなるようにしてください。（管理機での耕うんは2回ぐらい行なってください）

### 2. 畝の高さ調節



畝高さ調節ハンドル

★畝立作業をする際に畝の高さを調節する場合は、左図の「畝高さ調節ハンドル」を回してください。

- 畝を高くする場合→ハンドルを『高い』の方向（右方向）へ回してください。
- 畝を低くする場合→ハンドルを『低い』の方向（左方向）へ回してください。

### 3. 上手な畝を作るには



1回目



2回目

★小型管理機で畝立を上手にするには1畝2回で仕上げることをお勧めします。

- 1回目は畝を半分上げるつもりでまっすぐに畝立てを行なってください。
- 2回目には、1回目で作った畝の溝を中心に羽根先端まで土をため、畝立て作業を行なってください。真っすぐに綺麗な畝立てができます。

製造元 株式会社アタッチメント研究所  
〒721-0961 広島県福山市明神町 2-2-22

TEL 084-931-3855

FAX 084-926-3611